

インプラント治療の流れ

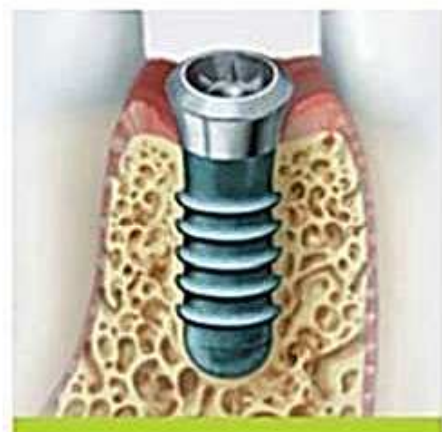
歯科医師によるインプラント手術は、局所麻酔下で行われ、あごの骨にインプラント体（人工歯根）が埋め込まれます。手術後の治癒期間に、インプラント体と骨がしっかり結合し、その後にアバットメント（支台）、人工歯をインプラント体に取り付けます。インプラントを長期的に維持させるには、インプラント治療した部分に限らず、口腔内全体を衛生的に保ち、定期検診を受けることが不可欠です。



1) 診査と治療計画

- 患者さんの全身状態の問診と口腔内の状態の診査を行います。
- あごの骨の量と質を記録するため、口の中の型を取り、レントゲン・CT撮影を行います。
- これらのデータを用いて、一人ひとりの患者さんに適した治療計画を立案します。

☆全身状態や検査の結果によってはご希望の治療ができない場合もあります。



2) インプラント体の埋入と治癒

- 局所麻酔をかけて、インプラント体を埋め込みます。
- インプラント体と骨が結合するまで、期間をおきます。
- 治癒期間は、インプラント体の種類、骨の健康状態、体調によって異なります。

☆おおよそ上顎は4か月～半年、下顎は3か月～4か月ほど待ちますが、骨の状態や全身状態によっても変化します。

3) アバットメント（支台）の装着

- インプラント部分の精密な型取りを行います。
- 患者さんに適したアバットメントのデザインを選択し、装着します。

☆選択するインプラントの種類により、アバットメント装着前に2次手術が必要な場合があります。

2次手術は歯茎を数ミリ切開し、粘膜の下に埋め込んだインプラントのネジ穴をあける手術ですので、お体への負担はほとんどありません。



4) 人工歯の装着

- アバットメントに適合し、患者さんの歯の形と色に合わせた人工歯を作ります。
- 口腔内にぴったりと合うことを確認し、インプラント体の上に取り付けます。

☆まずはプラスチックの仮の歯を装着し、お掃除ができるかどうかや、問題なくかめるかどうかを確認したのちに、最終的な人工歯を装着します。



5) 治療後の歯磨きと定期検診

- 天然歯と同様に、よくお手入れしてください。
- 毎食後、そして、就寝前に、丁寧に歯磨きをしてください。
- 歯ブラシは柔らかいものを使用し、定期的に交換してください。
- 歯科医師による定期的なメンテナンスを受けてください。

☆インプラントは虫歯にはなりませんが、ご自分の歯と同様に歯周病にはなるリスクがあります。しっかりと日常のケアと、定期的な歯科医院でのケアを行いましょう。かみ合わせの調整も随時行います。

I 術後の注意点を守られていても、お体の状態等の理由でインプラントと骨との結合が得られないことがあります。その場合は可能であれば再度新しいインプラントを埋入します。（費用は手術に使用する滅菌の使い捨て材料費、薬剤のみ再度ご請求させていただきます。新しく使用するインプラント体の費用や手術技術料はご請求いたしません）

II 適切なお使用と、術後の定期的な受診をされている場合、人工歯は最終的な人工歯の装着日から2年間、インプラント体は埋入手術日から5年間の保証をご用意しております。（I, II は詳しくは契約時の「保障のお知らせ」をご覧ください）

インプラントがあなたに適した治療方法であるかを判断する上で、歯科医師の経験が重要な役割を果たします。

インプラントにはさまざまなタイプがあり、インプラント治療があなたに最適な選択肢か、また、どのインプラントが最善の選択肢となるかについては、歯科医師にご相談ください。